

BUSINESS REPORT

第115期 報告書

株主の皆さまへ

2024年12月1日から2025年11月30日まで

津田駒工業株式会社



代表取締役会長兼社長

高納 伸宏

～最高の品質を目指し  
社会に貢献する～

2024-2026 スローガン



連結業績ハイライト

受注高 <b>33,881</b> 百万円 (前期33,081百万円)	経常損失 (△) <b>△218</b> 百万円 (前期経常利益282百万円)
売上高 <b>35,447</b> 百万円 (前期36,445百万円)	親会社株主に帰属する当期純損失 (△) <b>△262</b> 百万円 (前期親会社株主に帰属する当期純利益488百万円)
営業損失 (△) <b>△79</b> 百万円 (前期営業利益398百万円)	1株当たり当期純損失 (△) <b>△41.04</b> 円 (前期1株当たり当期純利益76.45円)

(注) △印は、損失を示しています。

繊維機械事業

受注高	<b>28,602</b> 百万円 (前期比3.0%増加)
売上高	<b>30,199</b> 百万円 (前期比2.2%減少)
営業利益	<b>667</b> 百万円 (前期比26.8%減少)

工作機械関連事業

受注高	<b>5,279</b> 百万円 (前期比0.7%減少)
売上高	<b>5,247</b> 百万円 (前期比5.9%減少)
営業利益	<b>316</b> 百万円 (前期比42.9%減少)

## 1 第115期の業績について。

連結売上高は前期比2.7%減の35,447百万円となりました。損益面では、営業損失79百万円（前期は営業利益398百万円）、経常損失218百万円（前期は経常利益282百万円）を計上しました。売上の減少に加え、仲裁判断に伴う費用計上や、一部連結子会社の業績不振が影響しました。その結果、親会社株主に帰属する当期純損失は262百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益488百万円）となりました。

一方で、受注高は33,881百万円と前期比2.4%増加し、堅調に推移しました。

## 2 「中期経営計画2026」の取組と成果について。

2024年度にスタートした「中期経営計画TSK26」は、2026年度が最終年度となります。“新たな挑戦”を掲げ、これまで各部門が開発してきた新製品を市場へ投入し、市場開拓と新分野への積極的な参入を進めています。これらの取組を具体的な成果として示していきます。

繊維機械事業は、昨年10月の国際見本市「ITMA ASIA+CITME, Singapore 2025」で発表した新型タオル織機を市場投入し、受注を開始しました。



ITMA ASIA+CITME, Singapore 2025でお披露目した  
新型タオル織機

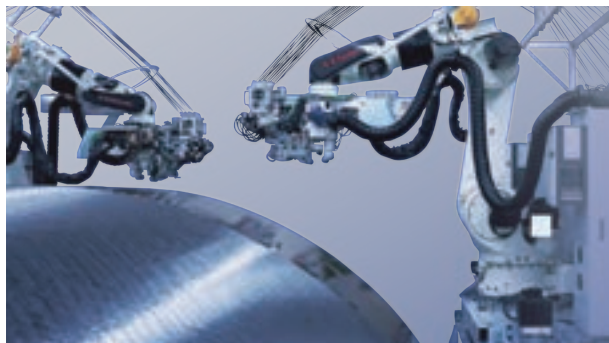
また、エアバッグ、タイヤコード、ガラス繊維などの産業資材分野では、お客様のニーズに応じた多様な仕様を展開し、市場拡大を図ります。



メカトロテックジャパン2025では様々な円テーブルを展出

工作機械関連事業は、当社独自の3つの駆動要素を組み合わせた製品の提案を進めるとともに、得意とする大型NC円テーブルによる差別化を強化します。

コンポジット機械事業は、「第9回コンポジットハイウェイアワード」でグランプリを受賞した、熱可塑性CFRP対応ロボットAFPの販売を昨年12月に開始しました。航空・宇宙産業での採用を期待しています。さらに、これまで当社が開発してきた自動積層機やスリッターなどの試験設備を活用し、新たにコンポジット受託加工事業「TACS」を開始します。CFRP複合材の加工・製品製造への足掛かりとなる取り組みです。



今後需要拡大が期待される熱可塑性CFRP対応ロボットAFP

また、販売部門は、価格改善を継続するとともに、製造部門では生産効率向上と原価低減を進め、営業利益の拡大に努めます。

管理部門は、今年度、人事制度改革を実施し、企業風土の変革と組織の活性化を促進します。「中期経営計画」の成果を確実に示し、さらなる成長を目指します。

### 3 株主の皆様へのメッセージ。

誠に遺憾ながら、配当原資が確保できなかったため、期末配当は見送りとさせていただきます。

今後は、安定した利益を確保できる体質への転換を図るべく、既存事業の強化と新たな事業戦略を推進します。利益重視の意識改革を行い、連結営業利益および営業キャッシュフローの改善を通じて、財務基盤の再生と強化に取り組みます。

株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## ～繊維機械事業～

### エアジェットルーム15万台達成

2025年7月16日、津田駒エアジェットルームの累計生産台数が15万台を達成しました。当社のエアジェットルームは、1976年の大阪国際繊維機械展（OTEMAS）で初公開し、1978年から本格生産を開始いたしました。この50年の間に、日本国内はもとより、欧米、中国、台湾、東南アジア、アフリカ、南米など、世界各国に納めてまいりました。

現在生産されているZAX001neo Plusも、長年の知見と先進技術を融合し、世界のお客様へと出荷されています。

これからも飽くなき探求心のもと、技術開発と環境配慮を追求し、お客様とともに世界の織布業界の未来を切り拓いてまいります。



組立ラインで記念写真の撮影が行われた

## ～コンポジット機械事業～

### コンポジット受託加工事業「TACS」を開始

当社はコンポジット機械部において、自社設備を活用したコンポジット加工の受託事業「TACS（Tsudakoma Advanced Composite Service）」を開始しました。

当社ではこれまで、自動積層機やスリッターをはじめとした試験設備を、主に設備導入を検討するお客様向けに試験加工や試作生産のために提供してきました。今回の新サービスではこれらの試験設備を利用し、多様なニーズに対応できる受託加工サービス事業を開始します。当社の設備と技術を活用し、コンポジット分野における製品開発・試作・生産を支援し、業界のさらなる発展に貢献してまいります。

# 連結財務データ

## 連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	前期	当期
	令和6年11月30日現在	令和7年11月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	19,140	17,858
固定資産	11,111	11,502
有形固定資産	7,363	7,181
無形固定資産	106	43
投資その他の資産	3,642	4,276
<b>資産合計</b>	<b>30,252</b>	<b>29,361</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	20,386	20,117
固定負債	7,017	6,257
<b>負債合計</b>	<b>27,404</b>	<b>26,375</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,281	1,019
その他の包括利益累計額	1,435	1,827
非支配株主持分	131	138
<b>純資産合計</b>	<b>2,848</b>	<b>2,985</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>30,252</b>	<b>29,361</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	前期	当期
	令和 5年12月 1日から 令和 6年11月30日まで	令和 6年12月 1日から 令和 7年11月30日まで
売上高	36,445	35,447
営業利益又は営業損失 (△)	398	△79
経常利益又は経常損失 (△)	282	△218
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失 (△)	683	△140
当期純利益又は当期純損失 (△)	491	△254
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	488	△262

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 株式の概況 (令和7年11月30日現在)

### 株式の状況

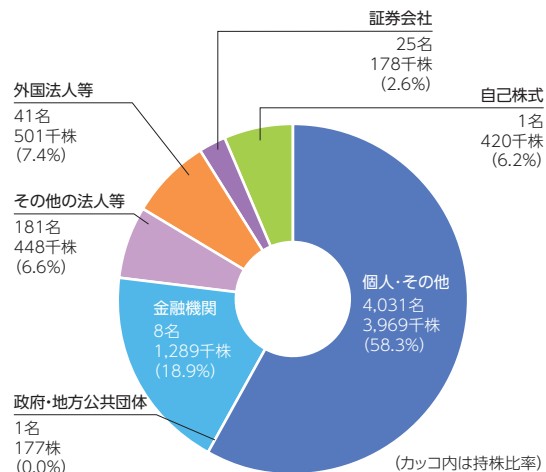
①発行可能株式総数	19,900,300株
②発行済株式の総数	6,807,555株
(内自己株式の数)	(420,105株)
③単元株式数	100株
④株主数	4,288名

### 大株主の状況

株主名	持株数(千株)
津田駒取引先持株会	1,390
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	655
HSU CHENG CHUNG	450
明治安田生命保険相互会社	280
ツダコマ従業員持株会	223
東京海上日動火災保険株式会社	146
株式会社北陸銀行	97
吉江克己	75
株式会社SBI証券	57
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 北陸銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	50

(注) 当社の保有する自己株式420千株は上記表には含んでおりません。

### 株式の分布状況



## 会社概要

本社所在地	〒921-8650 石川県金沢市野町5丁目18番18号	資本金	123億1,654万円
設立	昭和14年12月30日（創業 明治42年3月）	従業員	751名

### 役員の状況（令和8年2月末日現在）

#### 取締役

代表取締役会長兼社長	高 納 伸 宏
代表取締役専務	北 野 浩 司
取締役	室 井 哲 也
取締役（社外）	松 原 和 弘
取締役（社外）	河 村 肇 肇
取締役（社外）	下 川 広 佳

#### 監査役

常勤監査役	長 谷 博 史
常勤監査役	若 森 達 雄
監査役（社外）	澁 谷 進 進
監査役（社外）	梶 政 隆

### 執行役員

社長執行役員	高 納 伸 宏	繊維機械部門統括 法務・コンプライアンス室担当 TSUDAKOMA Europe s.r.l.代表取締役
専務執行役員	北 野 浩 司	管理部門統括 輸出管理室長、経営企画室長 ふぁみーゆツダコマ（株）代表取締役
常務執行役員	室 井 哲 也	製造部門統括（製造第1部2部、生産技術部、調達部、品質保証部） 航空機部品推進室長
常務執行役員	大 河 哲 史	工作機械関連部門統括 ツダコマテクノサポート（株）代表取締役 TSUDAKOMA SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED代表取締役 津田駒機械設備（上海）有限公司董事長
常務執行役員	石 原 英 行	鋳造部担当 鋳造部長
執行役員	西 村 勲	コンポジット機械部担当 コンポジット機械部長 準備機械技術部担当
執行役員	北 川 登 志	知財・情報管理部担当 知財・情報管理部長 デジタル戦略推進責任者（CDO）
執行役員	松 岡 実	総務部担当 総務部長
執行役員	高 鋤 悟	繊維機械販売部担当 繊維機械販売部長 経営企画室兼務
執行役員	名 木 啓 一	繊維機械技術部担当 繊維機械技術部長
執行役員	多 田 裕 之	工機技術部担当 工機技術部長

### 顧問

顧問	松 任 宏 幸	ツダコマ・ゼネラル・サービス（株）代表取締役
顧問	坂 井 一 仁	（株）T-Tech Japan代表取締役
顧問	寺 田 武 志	共和電機工業（株）代表取締役 津田駒機械製造（常熟）有限公司董事長

DREAM NAVIGATOR  
SINCE 1909



### 株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年11月30日 中間配当 毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	当社ホームページ上に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

ホームページのご案内  
[www.tsudakoma.co.jp](http://www.tsudakoma.co.jp)

